

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	1	自分から取り組もうとする意識・態度の育成
目標（評価規準）		自分から＜自分を大切に、同じように、他の人も大切にする＞意識・態度の育成
重点に係る現状 設定理由		本校児童は、素直で、優しく、前向きな子が多い。また、協力的、協働的で、物事を一生懸命取り組むことができる。半面、やや自主性、積極性にかける部分もある。もっと自分に自信をもち、自分の考えを持てる等、自己肯定感、自己有用感を高め、自分を大切にする気持ちを育成することで、さらに人権を尊重した教育活動の展開を図りたいと考える。

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>・【豊かな心】「自分を大切に、同じように、他の人も大切にする子が、育成されている。」という項目では95%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価しているので、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</p> <p>・「何を学ぶか～友達との関わり～」、「何ができるようになるか～ものごとを多面的・多角的にとらえ、思いやりの心を持って行動できる～」という項目では、すべての教職員が肯定的回答をしている。</p> <p>・「何が身に付いたか～多様な価値観を認め、互いの良さをみつけようとしている～」という項目では87%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。重点を意識した授業がおこなわれていると思われる。</p>
各アンケート等の結果	<p>・児童は「自分を大切に、同じように、他の人も大切にするようにしている。」という質問項目には、90%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているので、自分の良さ、友達や周りの人の良さや多様性を認めようとする意識が昨年度（86%）より高まっているのを感じる。</p> <p>・保護者アンケートでは、高く評価されている。「初声っ子は優しい子が多いので、良い指導をしていただいていると思います。」「子どもたちの声を聞いていると、学級・学年問わず、みんなで仲良くしていて、協力し合い、助け合っている姿が伺えます。とても良い事だと思います。」等の感想をいただいた。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>○今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、制限された生活や行事の中であり、罹患または濃厚接触者になった児童もいたが、その子達に対する気遣いや優しさが発揮されているのも十分に感じた。また、授業でも、話し合い活動やかかわり合いが多い授業を意図的に組み入れることで、多様な価値観、互いの良さを認める力の育成を各教職員が意識して行っていた。来年度は、通常の生活に戻る中で、さらに【豊かな心】の育成を目指していきたい。</p> <p>・人権教育を基盤とする、認め合い、一人ひとりの居場所がある温かな学級・学年・学校づくりを、日常の学級経営、行事の中で、全教職員が変わらず意識してすすめる。</p> <p>・今年度は、児童会が「絆」「スマイル」をスローガンとして、各行事や取組を企画・運営した。来年度も児童一人ひとりが、より温かい学級・学年・学校づくりを、児童会中心に自分たちで取り組めるよう支援する。</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者の来校機会が運動会と個人面談だけになったが、学校・学級通信により、例年より多く情報発信したことを、保護者は高く評価していた。来年度も積極的に情報発信を行うとともに、児童が保護者に学校での楽しい話を自分からしたくなるような、学校生活の実現を目指していきたい。</p>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校評価委員会未実施
最終改善方策	<p>以下の3点について具体的な方策、年間計画を策定し、授業・行事等の改善に取り組みたい。</p> <p>○教職員が、授業や行事をとおして「自分を大切に、同じように、他の人も大切にする」という人権意識をさらに高めていくことを意識するとともに、具体的な取組を情報発信していく。</p> <p>○児童が児童会中心に、自分達でより「温かい学級・学年・学校づくり」に取り組めるよう支援する。</p> <p>○児童指導部中心に、いじめの未然防止・早期発見、多様性の認め合いについての取組・研修を行っていく。</p>

本年度の重点	2	自分から取り組もうとする意識・態度の育成
目標（評価規準）	自分から心と体の健康を考え、がんばりぬこうとする＞意識・態度の育成	
重点に係る現状 設定理由	本校の児童は、楽しく運動しているが、自らの体力を向上しようとして取り組む意識は高いとは言えない。また、何事にも取り組もうとはするが、最後までがんばりぬこうとする意志も、強いとは言えない。家庭と連携した基本的生活習慣の確立を基本に、運動でも学習でも、自分の目標を設定し、努力し続ける力の育成を図りたいと考える。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【健やかな体】「心も体も健康で、がんばりぬく子が育成されている。」という項目では、すべての教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と評価しているので、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</li> <li>・「何が身に付いたか～自分の学びの現状を把握し、課題解決のため、粘り強く取り組んでいる～」という項目では、87%の教職員が肯定的回答をしている。</li> <li>・「保護者や地域の人の声や考えを聞きながら連携・協力をしている。」という項目では、91%の教職員が肯定的回答をしている。家庭と連携した基本的生活習慣の確立をさらに進めいきたい。</li> </ul>
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は、「学習や生活において、途中であきらめず、最後までがんばろうとしている。」という質問項目には、91%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているので、「がんばりぬこうとする」意識が育っていると感じられる。</li> <li>・保護者アンケートは、「持久走」への取組の評価等おおむね良好である。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響による体力低下への心のケアについて、心配する意見もいただいた。</li> </ul>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>○新型コロナウイルス感染症による影響で、放課後外で遊ばない児童もいるようである。ただ、学校では体育の授業はもちろん、朝休み、20分休み、昼休みに元気に運動、または遊ぶ児童の姿が良く見られた。コロナ禍での「新しい生活様式」の中で、「やれることは、できるだけやる」という気持ちを教職員が持ち、【健やかな体】の育成を、家庭と連携しながら、来年度も進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートやアンケート等を活用して保護者の声を聞きながら、家庭と連携して基本的生活習慣の確立をすすめる。</li> <li>・運動面だけでなく学習面でも、楽しむ態度を養うとともに、自分の目標を設定し、努力し続ける力の育成を目指す。</li> </ul> <p>* 今年度は新型コロナウイルスの影響で、保護者に学校での児童の様子をみてもらう機会をほとんど持てなかった。学校で「できていること・できていないこと」、家庭で「できていること・できていないこと」を、学校と家庭で共有することで、児童の基本的生活習慣の確立、「心と体の健康を考え、がんばりぬこうとする」意識・態度の育成を、連携してすすめていきたい。</p>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校評価委員会未実施
最終改善方策	<p>以下の3点について具体的な方策、年間計画を策定し、授業改善に取り組みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「新しい生活様式」の中でも「やれることは、できるだけやる」気持ちを教職員がもち、家庭と連携した基本的生活習慣の確立を目指す。</li> <li>○生活・学習・運動面において、「振り返り」を大切にし、自分の目標を設定し、その達成に向けて努力し続ける力を育成していく。</li> <li>○児童が楽しいと感じ、意欲を持って取り組めるような授業、運動、児童会企画の取組を意識する。</li> </ul>

本年度の重点	3	自分から取り組もうとする意識・態度の育成
目標（評価規準）	自分から主体的に考え、学び合い、解決しようとする＞意識・態度の育成	
重点に係る現状 設定理由	本校の児童は、自主性、積極性にやや欠け、「自分で考え、話し合い、発表する力」が弱いということが全教職員の一致した認識である。全教職員で考えた「初声小学校グランドデザイン」の中心となる資質・能力の育成の中の、「何を・どのように学び・何が身に付き・何ができるようにするか」を常に意識した授業を行うことで、目標の達成を図りたいと考える。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資質・能力の育成】「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子が育成されている。」という項目ではすべての教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と評価しているので、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</li> <li>・「何を学ぶか～基礎・基本、見方・考え方、学び方～」、「何ができるようにするか～自分から学び続けることができる。学んだことを自分の生活や考えに生かすことができる。～」という項目では、すべての教職員が肯定的回答をしている。</li> <li>・「どのように学ぶか～自分の考えを持ち、伝え合うことで、さらに自分の考えを深める～」、「何が身に付いたか～学ぶこと、学び合うことを楽しんでいる～」という項目では90%の教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と回答している。</li> </ul>
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は、学習についての質問項目についてほとんど肯定的回答をしているが、「自分からものごとに取り組む、友達の考えを聞きながら、自分で解決しようとしている」、「授業中、友達と考えを交流して、自分の考えを深め、表現できている。」という二項目では「あまり思わない」「思わない」との回答が10%あった。</li> <li>・今年度も保護者のアンケートは記述式にしたが「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子の育成」については、「家庭でも成長が見られた」等の肯定的な意見が多かった。令和2、3年度と「自分から取り組もうとする意識・態度の育成」を重点目標に取り組んだ成果が表れたように思う。</li> </ul>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、本来行いたい「話し合い・学び合いを主体とする授業」、そして、研修はできなかったが、やれる範囲で、年度当初から「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子の育成」を目指した授業を行ってきたため、児童の「自分から取り組もうとする意識・態度」は高まったように感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何を学ぶのか(基礎基本、見方・考え方、学び方)」、「どのように学ぶのか(めあてを明確に、心が動く課題の設定、伝え合いの活動の設定、振り返りを大切に)」を意識して、授業の展開を考える。</li> <li>・「何が身に付いたか(学び合うことを楽しんでいる、学びを自分ごととして捉えようとしている)」、「何ができるようにするか(自分から学び続けることができる、学んだことを自分の生活や考えに活かすことができる)」を意識した授業改善ができていくか確認しながら、授業を行う。</li> <li>・学校だより、学級通信等で、上記のように授業を進める上で大切にしていること、「学校グランドデザイン」のどの部分に当たる内容なのかを知らせること、さらに家庭学習の目的等についても、積極的に情報発信を行う。</li> </ul> <p>* 新型コロナウイルス感染症の影響で制限された生活の中だったが、児童は逆に自分たちで考える、考えなければならない機会が多かったようで、「自分から取り組もうとする意識・態度の育成」が成果として表れた。</p>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校評価委員会未実施
最終改善方策	<p>以下の3点について具体的な方策、年間計画を策定し、授業改善に取り組むたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標、方針等も現在の児童の実態にあったものにしていくために、作成から3年たった「初声小学校グランドデザイン」の全面的な見直しを図る。</li> <li>○「自分から取り組もうとする意識・態度の育成」の成果が表れてきたため、令和4年度の重点目標を新たに設定する。</li> <li>○今年度設定できなかった授業参観や教職員全員で見合う研究授業を行い、家庭と協力しながら、基礎基本の習得及び自主的な学習ができる意識・態度を育成する。</li> </ul>